

Fukushima
City

ごみ減量 大作戦

チャレンジ ごみ減量20%

ごみ減量のためには
市民のみなさん一人ひとりの
ご協力が必要です!



【お願い】

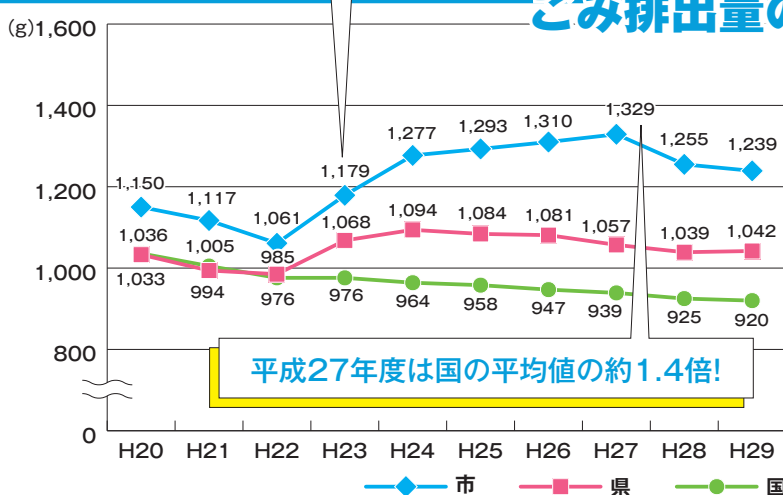
この資料は
令和元年7月から開催するごみ減量のための「地区座談会」で使用する予定です。
大切に保管いただきますようお願いいたします。

他都市との ごみ排出量の比較 (平成 29 年度)

地域	都市名	1人1日あたり 排出量
県内	福島市	1,239g
	郡山市	1,205g
	いわき市	1,028g
東北	秋田市	1,048g
	仙台市	1,046g
	青森市	1,041g
	盛岡市	1,032g
	山形市	970g

平成23年度から、ごみの排出量は増加傾向をたどりました。

1人1日あたりのごみ排出量の推移



※環境省「一般廃棄物処理実態調査結果」より
 ※1人1日あたりごみ排出量には災害関連ごみ及び除染活動により生じたごみも含む
 ※1人1日あたりごみ排出量を算出する際の人口：各年10月1日現在住民基本台帳

知って
いますか？

福島市の

ごみ排出量は

全国平均の

約1.3倍!!

平成29年度1人1日あたりのごみ排出量

1,239g (うち家庭系:921g(ワースト1位) うち事業系:318g(ワースト75位))

※人口10万人以上都市順位



福島市における1人1日あたりのごみ排出量は、平成26年度と平成27年度、10万人以上の都市において最も多いという不名誉な状況にありました。平成28年度からは減少傾向に転じましたが、全国の他都市と比べ、まだまだ多い状況にあります。

ごみ処理費用は、

年間約40億円!

収集運搬、焼却処理、資源化、最終処分等のごみ処理には、福島市の市税収入の1割に相当する多額の費用がかかっています。

- 市民1トンあたり：約32,000円
- 市民1人あたり：約14,000円

※平成29年度廃棄物処理原価

収集
約10億円



焼却など
約21億円



資源化など
約2億円



埋立など
約1億円



その他管理 約6億円

ごみ処理の有料化の前に、
市民、事業者、行政が一体となって、
全力でごみの減量に取り組むことが必要です!

福島市廃棄物減量等推進審議会から

ごみ処理有料化導入について
答申を受けました

平成30年11月22日

答申の概要

- ごみ処理有料化は、ごみの減量化・資源化への手段として有効。（全国約6割、福島県内の約4割の市町村が導入している。）
- 福島市のごみ排出量は、依然として、全国、福島県内の他自治体よりも多い状況にある。
- 福島市のごみ排出量は、原発事故の影響という（除染などの）特殊性がある。
- 原発事故の影響が、未だ残っている状況下において、市民に新たな負担を求めることは慎重に検討すべき。

ごみ処理有料化の前に、意識の啓発、有料化以外の施策を積極的に展開することが必要。

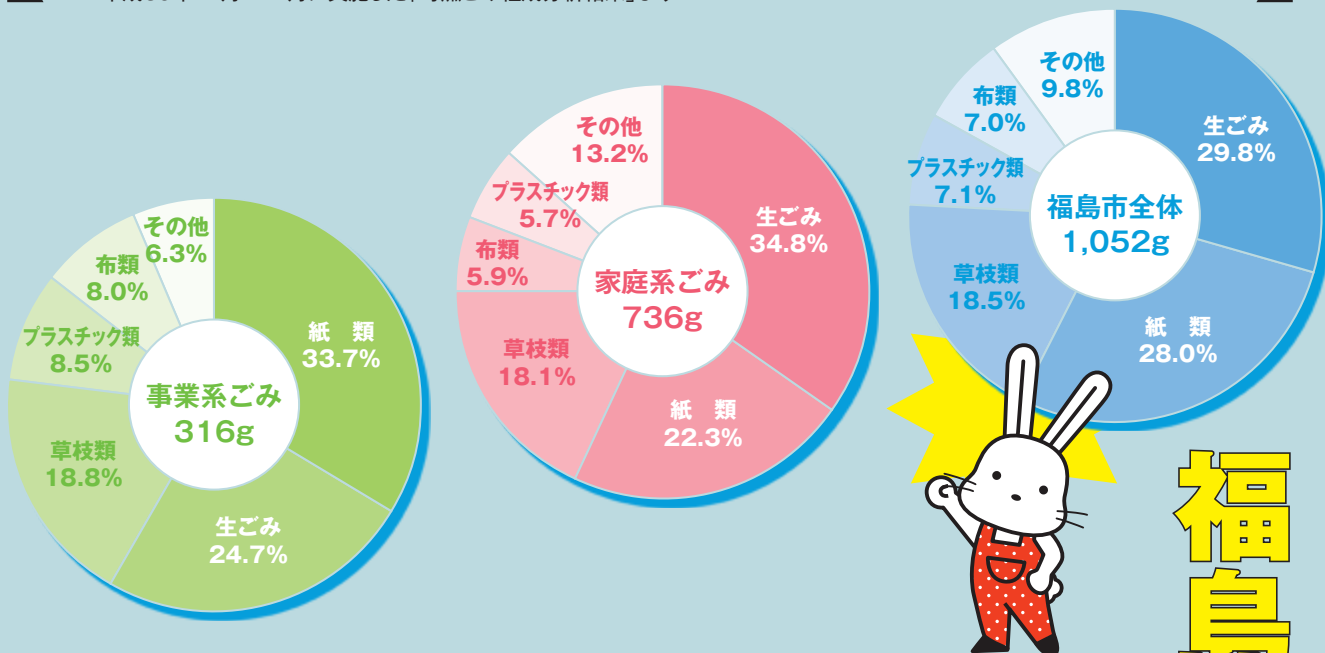
- 市は「ごみ減量大作戦」と銘打って、新たな施策を展開。
 - 市民・事業者は、ごみ減量化施策へ協力。
- 一定の目標を設定し、ごみ処理有料化の方針を決定することが必要。

目標：令和3年度までに
市民1人1日あたりのごみ排出量 890g以下
目標達成できなかった場合、ごみ処理有料化もやむを得ない。

※福島市廃棄物減量等推進審議会とは
一般廃棄物の減量および再利用の推進を図るため、これらについて調査審議する組織で、学識経験者・関係団体代表者・関係行政機関の職員等が所属している市長の附属機関。

福島市の可燃ごみ排出の特徴を分析すると…

※平成30年11月～12月に実施した「可燃ごみ組成分析結果」より



福島市の可燃ごみの現状を見てみよう！

ごみ種別毎の1人1日あたりの排出量

種別	家庭系ごみ	事業系ごみ
生ごみ	256.1g	78.1g
紙類	164.1g	106.5g
草枝類	133.2g	59.4g
布類	43.4g	25.3g
プラスチック類	42.0g	26.8g
その他	97.2g	19.9g
計	736.0g	316.0g



1人1日あたりの排出量が少ない他市との比較（家庭系可燃ごみ）

	生ごみ	資源紙 (紙類の中の資源物)	草枝類	プラスチック類
福島市	256.1g(34.8%)	74.3g(10.1%)	133.2g(18.1%)	42.0g(5.7%)
A市	191.6g(40.1%)	21.0g(4.4%)	—	4.8g(1.0%)
B市	171.9g(37.2%)	46.2g(10.0%)	60.1g(13.0%)	36.5g(7.9%)

「紙類」の割合が高く、特に資源物となり得る「資源紙」の比率が高い

「草枝類」の割合が高い

注)公表されているデータに基づき、比較のため福島市が独自に作成しました。各市が公表している数値ではないため、「A市」、「B市」と表記しています。

ごみ減量大作戦 を決行します!!

-20%

福島市廃棄物減量等推進審議会からの「ごみ処理有料化の導入について（答申）」に示された目標達成に向け、可燃ごみの組成分析に基づく具体的な減量施策を「ごみ減量大作戦」として展開します。



令和3年度までに、

1人1日あたりの

ごみ排出量

890g以下

を目指します!

ごみ減量20% を目指しましょう!

平成29年度のごみ排出量から、震災・原発事故の影響による特殊要因を除いた1人1日あたりのごみ排出量…1,103g

$$1,103g - 890g =$$

必要な削減量

213g

目標達成へ向けて、排出量が多い
生ごみ、紙類、草枝類を重点的に減量!

草枝類
48g削減 **3**

堆肥化の徹底

紙類
68g削減 **2**

分別の徹底

生ごみ
84g削減 **1**

生ごみの水切りの徹底と
食品ロスの削減



ごみ重量の参考

ごはん茶碗一杯分
約130g

りんご（小玉）
約250g

卵一個
約60g

文庫本
約150g

プラス



「3R」の徹底

Reduce, Reuse, Recycle

※詳しくはP7へ



めにできること!

作戦
その1

生ごみの水切りの徹底

「水切り」はごみ減量への第一歩!

水切りの
効果

- ごみの減量化
- 悪臭やカビの発生抑制
- ごみ収集車の燃費向上
- 焼却工場の燃焼効率の向上

水切りの
方法

- 1 水切りネットを使用して水切りする
- 2 ゴム手袋を使用して直接水切りする
- 3 ペットボトルの注ぎ口などを利用して押しつけながら水切りする
- 4 すぐに捨てずに一晩おいてから捨てる
- 5 市販の水切りグッズなどを利用する

生ごみの
約**80%**
が水分!

1



2



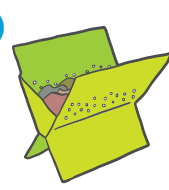
3



4



5



作戦
その2

食品ロスの削減

食品ロスを減らしましょう!



本来、食べられるのに捨ててしまう食品「食品ロス」は

全国で、年間約**643**万t

国民1人1日あたり約139g ※茶碗約1杯のご飯の量に相当

食材は
食べきれん分だけ買う

最後まで使い切る

食べ残しをなくす

●おいしい食べきり! 2020運動

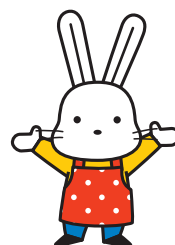
2020運動は、宴会時など「最初の20分間と最後の20分間」は自席に着いて、残さず食べる取組みです!

●毎月20日は、冷蔵庫クリーンアップデー

冷蔵庫内の消費期限・賞味期限が近い野菜・肉を積極的に使用しましょう。

●毎月「2」回「0」のつく10日と30日は、もったいないクッキングデー

食べられるのに捨てられていた野菜の茎や皮を活用するクッキングに挑戦!



ごみを減らすた

作戦
その3

分別の徹底

資源物は徹底して分別し、ごみに混ぜないでください。
～混ぜればごみ、分ければ資源～

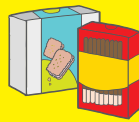
資源物	缶 類	水ですすぐ 空にして中を 水ですすぐ	キャップ ははずす	ラベルをはがし、 横につぶす	それぞれ 透明袋(45ℓ以内) に入れて出す
	びん 類				
	ペットボトル				
	プラスチック製容器包装	空にして中を水ですすぐか 汚れを取り除く			
	紙パック	中を水ですすぎ 切り開く	おおむね高さ40cm以内 (段ボールは20cm以内) に束ねる	それぞれ ひもで十文字に束ねて 出す	雨・雪の日はできるだけ 次の収集日に 出してください
	段ボール	1辺50cm程度に 折りたたむ			
	新聞紙・チラシ	袋に入れない			
	雑誌・本				
その他の紙製容器包装	空にして汚れを 取り除く				

特に、資源化できる紙類が
可燃ごみに多く混ざっています。

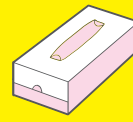
※ティッシュ箱を折りたたんだ程度の大きさ以上のもの



紙袋



菓子箱



ティッシュ箱



包装紙 など

● 集団資源回収報奨金制度

資源物の集団回収を自主的に実施する市民団体等（町内会
や育成会など）に報奨金を交付する制度です。報奨金は運
営費に充てるなど、自由に使うことができます。

● 市内には、食品トレイ、ペットボトル、新聞紙
などを店頭回収している店舗があります。
ぜひ積極的に利用しましょう。

作戦
その4

堆肥化の徹底

可燃ごみの約2割を占めている草枝類の
多くは草類です。コンポストなどを活用し
て、生ごみと一緒に堆肥化しましょう。

● 生ごみ処理容器購入費助成制度

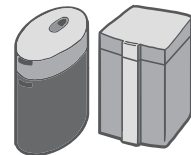
① 生ごみ堆肥化
(コンポスト容器)



② 密閉型(ほかし)
専用生ごみ処理
容器



③ 電動式
生ごみ処理機



年度内1世帯につき1基(②は年度内1世帯につき2基)まで。
容器購入額(消費税を含む)の2分の1で、2万円が限度。(百円未満は切捨て)

【草類は乾燥させてから出してください。】

草類は多くの水分を含んでいます。乾燥させることにより、ごみの減量につながります。

- 乾燥させてからごみ袋に入れる。
- 乾燥させるため、数日間、ごみ袋の口を開けてからごみを出す。

ごみ減量のための「地区座談会」を開催します。

福島市は、平成28年度に1人1日あたりのごみ排出量ワースト1を返上しましたが、全国的に見てもまだまだごみが多い状況に変わりありません。そのため、令和元年7月から、ごみ減量のための「地区座談会」を市内全地区で開催します。

- 福島市のごみ処理の現状、ごみ減量のために市民のみなさんができること、ごみ減量に活用できる市の助成制度などの説明をします。
- 「生ごみの水切り器の無料配布、使用方法の説明」も予定しております。
- ごみ減量に対しての、みなさんのご意見をお聴かせください。
- 「ごみ減量サポーター」を募集します。一緒にごみの減量に取り組みましょう！

詳しくは町内会を通じて回覧する予定です。
ごみの減量には、市民のみなさん一人ひとりの協力が必要です。
是非、ご参加ください。

「3R」の徹底



ごみ分別アプリ「さんあ〜る」

市では、ごみ分別アプリ「さんあ〜る」のサービスを提供しています。スマートフォンやタブレット端末などで、ごみの収集日、分別、出し方を確認できます。また、収集日の前日や当日の設定した時間に通知を受け取れます。

※詳しくは市ホームページをご覧ください。



App Store
からダウンロード



Google Play
で手に入れよう



iPhone などの iOS 端末
(対応バージョン: iOS8.0 以上)



Android 端末
(対応バージョン: OS4.2 以上)

1 Reduce リデュース ~ごみを出さない~

すぐに不要となるものは家庭内に持ち込まない

- 買い物はマイバッグを持参して、レジ袋を減らす
- 過剰包装や不要な割り箸、おしぼりなどを断る
- 使い捨て商品の使用を控えたり、詰め替え用品を使う



2 Reuse リユース ~繰り返し使う~

使い終わったものでも繰り返し利用する

- 修理して、長く大事に使う
- リサイクルショップや古本屋を利用する
- フリーマーケットを利用する



3 Recycle リサイクル ~再資源化する~

もう一度資源としてリサイクル

- 資源物は徹底して分別し、ごみに混ぜない。
- 地域の集団資源回収に積極的に参加・協力する。
- 再生紙など再生品を積極的に使用する。



Fukushima City

ごみ減量
大作戦
にご協力ください!

クリーンでエコなまち福島市へ

福島市環境部ごみ減量推進課ごみ減量推進係

TEL 024-525-3744